

2018
vol.57
no. 5

写真測量とリモートセンシング

目 次

〈巻 頭 言〉 社会に役立つ技術の取り組み	番上正人	185
〈カメラアイ〉 革新的河川管理プロジェクト 陸上・水中レーザードローン	磯部 寛	186
〈原 著 論 文〉 ドローン・カラー空中写真を用いた 北海道東部標津湿原の植生図の作成	吉野邦彦, 川口小百合, 神田房行	188
〈原 著 論 文〉 単視点多眼によるアメリカンフットボールプレイヤーの 識別と位置特定に関する研究	姜 文淵, 山本雄平, 田中成典, 中村健二, 田中ちひろ	198
〈研究速報〉 近距離 LiDAR 計測による水稻草丈推定における 群落繁茂状況とレーザー入射角に関する検討	合屋渉太, 力丸 厚, 高橋一義	217
〈情報ルーム〉 2014年御嶽山噴火の前兆, トリガー, と予測	荒木春視	224
〈活動報告〉 UAV 写真測量講習会 活動報告 ～i-Construction: UAV を用いた公共測量マニュアル (案) に基づいた講習会を実施～	大谷仁志	226
〈活動報告〉 『第14回 若手技術者・研究者による技術研究発表会』 活動報告	日本写真測量学会関西支部	227
〈活動報告〉 GeoDelft 2018参加報告	中川雅史	229
〈活動報告〉 第39回アジアリモートセンシング会議 (ACRS) 報告	長 幸平	233
〈文献抄録〉 地図の進化論 地理空間情報と人間の未来	本田謙一	238
〈文献抄録〉 The utility of Random Forests for wildfire severity mapping	大吉 慶	239
〈会のうごき〉		241
〈投稿要領・執筆要領・原稿送付状〉		242

表紙説明：この図は南海トラフの高度段彩を施した赤色立体地図*です。南海トラフではフィリピン海プレートの沈み込みによりトラフ軸から陸側にかけてスラストと呼ばれる低角逆断層が発達しており、本図からトラフの走向に沿っていくつものスラストを確認することができます。また室戸沖では1946年南海地震の破壊を止めたと考えられている海山の沈み込みに伴って上盤側に土佐ばえと呼ばれる隆起帯が形成されています。さらに紀伊水道から、紀伊海底谷・日高海底谷・富田海底谷の3つの海底谷を通して流れた乱泥流が紀伊半島沖の潮岬海底谷で一つになり、南海トラフへと向かう様子が明瞭に可視化されています。本図は、「南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト」の一環として、アジア航測株式会社の「赤色立体地図」(特許第3670274号)の特許技術を用い、陸地はSRTM15+, 国土地理院数値標高データを使用し、海底はJTOPO30, GEBCO2014, 海上保安庁, JAMSTEC, JEGG500, NOAA等の解像度が違うデータを統合したDEMで生成しました。企画制作/画像提供：海洋研究開発機構 プレート構造解析研究グループ 山下幹也

*この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高モデル)を使用した。(承認番号 平29情使, 第1354号)

本学会のホームページを開設いたしておりますのでご覧ください。

<http://www.jsprs.jp>

E-mail: office-jsprs@jsprs.jp

編集委員

委員長	織田和夫	(ア ジ ア 航 測 (株))
委員	五十嵐保樹	(リモート・センシング技術センター)
	石塚直樹	(農業・食品産業技術総合研究機構)
	今井靖晃	(国際航業(株))
	木寺幸司	(日本測量協会)
	笹川啓夫	(国土地理院)
	鈴木英夫	(朝日航洋(株))
	高橋陪夫	(宇宙航空研究開発機構)
	近津博文	(東京電機大学院)
	藤野千和子	(日本写真測量学会)
	布施孝志	(東京海洋大学)
	政春尋志	(東京海洋大学)
	吉野邦彦	(東京海洋大学)
	李勇鶴	((株) パ ス コ)
	力丸厚	(長岡技術科学大学)